

# 試水 かわら版

110

茨内水試図

今年のワカサギ漁獲量予想まとまる

霞ヶ浦 380 ~ 480 トン

北浦 80 ~ 130 トン

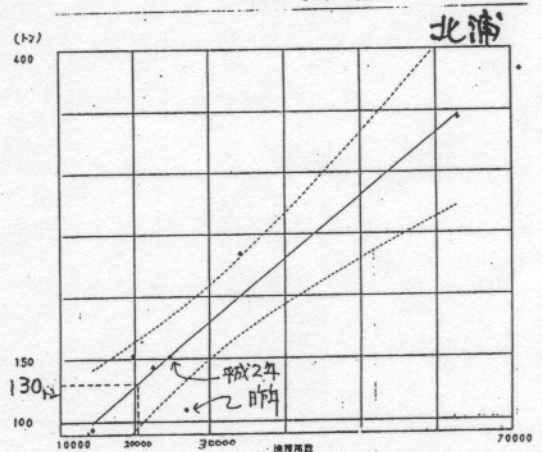
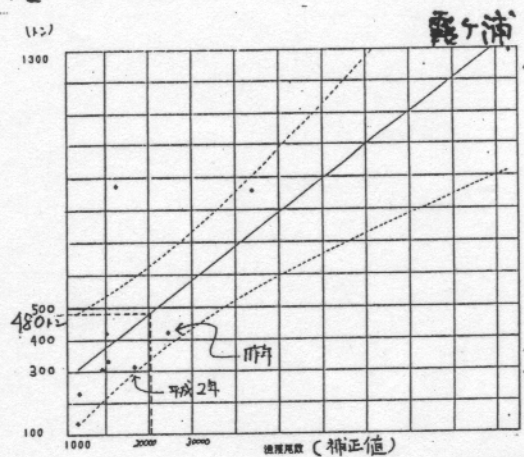
いよいよワカサギ漁の解禁です。

霞ヶ浦・北浦のシンボルであるワカサギの漁模様は私たちの気になるところです。内水試ではさる7月8日、関係者の御協力も得て恒例のワカサギ漁期前調査を実施しました。その結果を表1にまとめました。各地点とも20分間の下層魚で、( )内の数字は昨年の値を示しています。それをみると霞ヶ浦では、3地点の合計漁獲量は昨年を約2割上まわる40kgでした。その内訳をみると高浜入が昨年の約2倍でしたが、湖心では約半分というように場所により片寄りがみられました。

表1. 漁期前調査結果

地点	漁獲量(Kg)	平均体重(g)	漁獲尾数
湖心	2.4 ( 5.5)	2.71 (2.30)	901 ( 2390)
牛渡	5.4 ( 5.8)	2.62 (1.87)	2150 ( 3100)
高浜	32.5 (14.5)	2.52 (2.35)	12900 ( 8640)
合計	40.3 (31.6)		15800 (14100)
江川	7.0 (14.5)	1.79 (1.73)	3910 ( 8380)
白浜	18.5 (19.2)	1.98 (2.03)	9350 ( 9460)
水原	15.3 (19.0)	2.11 (2.10)	7260 ( 9450)
合計	40.8 (52.7)		20500 (26900)

図1 漁獲尾数と年間漁獲量との関係



北浦では、江川の漁獲量が昨年の半分、その他も若干下まわり、合計で約2割減の40kgにおわりました。魚体のみますと、霞ヶ浦では昨年よりやや大きいようでした。この結果を、試験操業結果と年間漁獲量の関係を示す図1にあてはめると、霞ヶ浦では土浦入高浜入湖心の漁場面積の違いに応じた補正を行、たうえて、約40トンの北浦では約130トンの値が得られます。しかしこの値はやや高めと考えられます。理由の一つとしては、2月から5月にかけて行ったワカサギ稚魚採集調査では図2にあるように

今年は霞ヶ浦北浦とも昨年、一昨年ほど稚魚がみられなかったからです。こうした状況を考えあわせると、今年の漁獲量は図1の値より低め、昨年並程度になるのではと思われる、霞ヶ浦では380~480トン、北浦では80~130トンと予想しました。(資源部)

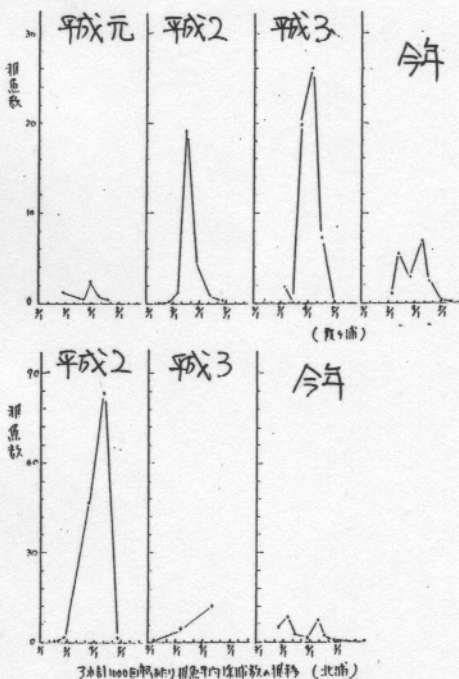


図2. ワカサギ稚魚採集調査